

栃木県原水協ニュース

No 183号 2018年10月3日
 原水爆禁止栃木県協議会
 〒321-0138 宇都宮市兵庫塚3-10-30
 栃木県労連気付 電話 028-653-1401
 メールアドレス: tcgken-gensuikyo@outlook.jp

「核兵器廃絶国際デー」署名行動・原爆パネル展



9月26日、民医連、栃木保健医療生協、革新懇、原水協の4団体は宇都宮東部北口で「核兵器廃絶国際デー」に合わせ「ヒバクシャ国際署名」の宣伝行動を行いました。

8人が参加し、署名を呼びかけると署名板をしばらくのぞき込んでいた人も署名をしてくれたり、「安倍さんは嫌いだ、なにもしない」など声もあり、1時間で25筆とチラシを配布しました。

新日本婦人の会宇都宮支部は9月7日、8日宇都宮市総合コミュニティセンターのロビーで「原爆パネル」を開催しました。8日は「生きる 戦場に残した伝言」の報道ドラマを上映し、30数人が来場しました。

原爆パネルを見た人の感想
 ○妹の背負った少年のパネルを見て、涙がでた(80歳男性)
 ○心に深くしみました。核兵器廃絶の活動に加わりつづけます。
 ○赤ちゃんづれのお母さんが、見たあとシール投票してくれました。

広島祈念式典中学生派遣
 今年、広島祈念式典に中学生を派遣したのは以下の11市町で、参加した中学生は194人、93中学校でした。
 小山市、下野市、宇都宮市、日光市、栃木市、那須町、野木町、鹿沼市、さくら市、那須烏山市、壬生町

映画の感想では、沖縄の平和の願いは、本当に日本全体の問題だと思ふ。戦争はあつてはならないと思ふなどの声が寄せられました。



「ヒバクシャ国際署名」数

諸団体	県北原水協	2,590筆
	県南原水協	102筆
	宇都宮市原水協	1,168筆
	非核の会	128筆
	新婦人の会	7,667筆
	民医連	2,007筆
	保険医協会	291筆
	県原水協	134筆
	小山推進委員会	140筆
	非核下野市の会	264筆
自治体	県労連	23筆
	栃木県平和委員会	54筆
	日光市	953筆
	下野市	494筆
	栃木市	81筆
	小山市	109筆
合計	上三川	160筆
	壬生町	165筆
合計		16,530筆 (10月1日現在)

「関東甲信越ブロック原水協学校」in 塩原 開催される

9月9・10日、塩原温泉かんぼの宿にて、各県から27名の参加で「関東甲信越ブロック原水協学校」が開催されました。

10日は原水協事務局次長の土田弥生氏より「核兵器禁止条約の発効、核兵器禁止・廃絶へー草の根の運動がカギ」と題して講演と討議が行われました。



講演で土田氏は次のような点について話しました。

○「禁止条約」採択後の世界の核兵器廃絶に向けての大きな変化と市民社会重視の実態○核保有国の激しい抵抗⇒追いつめられている証拠 ○圧倒的多数の非核国や市民社会は全く屈していない○核兵器の非人道性を強調することで核抑止論を打破 ○核兵器で平和と安全は守れないと

の世論づくりと日本政府の態度を変えさせること ○「ヒバクシャ国際署名」による大きな変化---日本に広がるかつてない協力の進展、禁止条約を野党共闘の議題へ---福山真劫氏の世界大会参加 ○核兵器の非人道性を知らせる活動を全国でかつてない規模で、特に若い世代に伝える ○核兵器問題を一人ひとりの問題とし、「ヒバクシャ国際署名」の更なる飛躍を



10日は、各都県からの報告と討議が行われました。協同推進のありかた、世界の動きと朝鮮半島の非核化、中国の動向、どう日本政府を変えるのか?など多方面にわたり、活発な意見交換が行われました。

いわさきちひろカレンダーを普及しよう!
 2019年版カレンダー(大判)1400円+税
栃木県原水協2018年第43回定期総会
 日時:11月17日(土)13:30~